

教職に関する科目

【準備学修に必要な学修時間の目安】

授業は、講義、演習、実験、実習又は実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行われ、 Semester 当たり15回（週）実施することを基本としています。なお、一部の授業科目は、集中講義で実施することもあります。

単位は学習量を表すもので、以下のとおり構成されますので、学修時間の目安にしてください。

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical training, and practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.

教育原理

月2（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：大迫 章史 所属部局等：東北学院大学. 開講セメスター：1セメスター.
科目ナンバリング：QTL-EDU101J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

学校教育と関連づけながら教育の本質や目的に関する基礎的・基本的な事項を学ぶ。

2. 授業の目的と概要：

本授業では、教育職員免許状取得にあたり、教育に関する基礎的・基本的な知識等を身につけ、これをもとに教育のあるべき姿を自ら考える力を身につけることを目的とする。

中学校や高等学校等の教員には自ら授業等を実践できる力が必要であることはいうまでもないが、こうした実践を支える基盤となる力がなくては実践も成り立たない。そのため、本授業では、実践を支えるの基盤として教員に求められる力を受講者のみなさんには身につけてほしいと考えている。

そこで、本授業では、教育原理という科目の性格上、教育の本質や目的に関わる内容を中心的なテーマとして学校教育と関連づけながら講義を実施する。その際、焦点をできるだけ絞って各回のテーマを設定し、受講者の皆さんがそれぞれのテーマをじっくりと考えることができるような形で進める。教育に関する基本的な理念と目的、教育における学校及びそこで働く教員の役割、そして現代日本における学校、子ども、教員が抱える課題を理解し、教員に必要とされる基礎的・基本的な事項を理解し、身につけてほしい。授業内容の詳細は、下記の授業内容・方法と進度予定の欄を確認して下さい。

なお、本授業では教科書は指定せず、科目担当者が準備するレジュメを用いて講義を進める。参考文献は多くあげておりますので、ぜひこれらを事前に読んでおくようにして下さい。

教育原理

木4（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：金井 徹 所属部局等：尚絅学院大学. 開講セメスター：1セメスター.
科目ナンバリング：QTL-EDU101J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育の歴史と思想

History and Philosophy of Education

2. 授業の目的と概要：

「教育」の意味とその本質について歴史的に考察し、人間の成長発達における教育・学校や教師の役割について検討する。さらに、欧米とわが国の教育目的の歴史を分析すると同時に、各時代の教育思想について理解する。

In this lecture, the meaning and essence of "education" will be examined historically, and the roles of education, schools, and teachers in human growth and development will be discussed. Furthermore, we will analyze the history of the purpose of education in Europe, the U.S., and Japan, and at the same time, understand the educational philosophy of each period.

教育原理

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：清多 英羽 所属部局等：東北学院大学. 開講セメスター：1セメスター.
科目ナンバリング：QTL-EDU101J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育に関連する重要な概念、教育の理念や思想、および学校教育の歴史的な成り立ちと社会の変容との関わりについて理解する。
To understand the important concepts related to education, the philosophy and thought of education, and the relationship between the historical formation of school education and the transformation of society.

2. 授業の目的と概要：

本授業では、教育に関連する基本的な諸概念を的確に踏まえるとともに、教育に関する理念や思想およびその歴史について、さらに現代日本にもつながる学校教育の歴史的な成り立ちについて概観する。その過程において、受講生各自の教育体験を振り返らせることによって、教育を支える諸要因とそれら相互の関係についての理解と確認を図る。授業は基本的には講義形式で進めるが、毎時受講生にワークを課して、授業の理解の定着と深化を図る。

In this class, we will provide an accurate understanding of basic concepts related to education, and will also provide an overview of the philosophy and thought behind education, its history, and the historical formation of school education, which is connected to modern Japan. In the process, by having students reflect on their educational experiences, we aim to understand and confirm the factors that support education and their mutual relationships. Classes are basically taught in a lecture format, but students are assigned to work every hour to help establish and deepen their understanding of the class.

教育の制度と経営

月3（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：大迫 章史 所属部局等：東北学院大学. 開講セメスター：2セメスター.
科目ナンバリング：QTL-EDU102J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育の社会、制度、経営に関する基礎的・基本的な事項を学校教育の観点から学ぶ。

2. 授業の目的と概要：

本授業は、教育原理に引き続き、教育職員免許状取得にあたり、教育に関する基礎的・基本的な知識等を身につけ、これをもとに教育のあるべき姿を自ら考える力を身につけることを目的とする。

教育原理では教育の本質や目的に関する事項を中心に扱ったが、本授業では教育の制度と経営という科目の性格上、教育の社会的、制度的、経営的な内容を学校教育との関連で学んでいく。その際、焦点をできるだけ絞って各回のテーマを設定し、受講者の皆さんがそれぞれのテーマをじっくりと考えることができるような形で進める。とくに教育に関する社会的、制度的、経営的な事項を、公教育の理念とその制度、日本の学校制度のあり方と教育行政の関係、学校、生徒、教員に関連する教育関係法規を理解し、中学校・高等学校教員としての教職に求められる基礎的・基本的な知識等を身につけてもらいたいと考えている。授業内容の詳細は、下記の授業内容・方法と進捗予定の欄を確認して下さい。

教育の制度と経営

木4 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 金井 徹 所属部局等: 尚絅学院大学. 開講セメスター: 2セメスター.
科目ナンバリング: QTL-EDU102J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

公教育制度の成立と展開

Establishment and development of the education system

2. 授業の目的と概要:

日本を中心とした公教育制度の発達過程をたどると同時に、教育の仕組みを法律・行政・経営という視点から捉えて現代の教育の課題を明らかにする。

Based on an understanding of the developmental process of the education system in Japan and other countries, we will identify issues in contemporary education from a legal and institutional perspective of the education system.

教育の制度と経営

集中講義 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 泉山 靖人 所属部局等: 東北学院大学. 開講セメスター: 2セメスター.
科目ナンバリング: QTL-EDU102J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

学校教育に関連する社会的、制度的、および経営的な事項を扱いながら、学校教育と社会との関わり、およびその中での子供の人間形成の在り方について学習する。

2. 授業の目的と概要:

本授業では、わが国における学校教育の社会的な成り立ちとその制度を概観するとともに、現代日本の学校教育をめぐる諸問題・諸課題を学校教育の経営という視点から考察する。その過程で、社会と教育のありうる関係とその意義、および子供の人間形成と社会にとっての学校教育の意味を明らかにしてゆく。本授業は基本的には講義形式で進めるが、毎時学生に課す小レポート（振り返り）をもとに、授業の理解の定着と深化を図る時間を設ける。

【授業方法】

本授業は基本的にハンドアウトに基づき、講義形式で進める。

毎授業時間の終末時に10分程度の時間を使い、授業内容に関する課題をミニットペーパーにて小レポートとして作成し、提出する。提出された課題に対しては必要に応じ解説および補足説明を行い、授業内容の理解を深める。

教育心理学 I

木 4 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 越中 康治 所属部局等: 宮城教育大学. 開講セメスター: 3セメスター.
科目ナンバリング: QTL-PSY101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

発達と教育の心理学

Developmental and Educational Psychology

2. 授業の目的と概要:

本授業の主たる目的は、(1) 教職に就く者に求められる教育心理学の基礎的事項についての理解を深めることと (2) 教育心理学の基本的な理論を踏まえ、自身の発達観・指導観を見つめ直すことである。この目的のために、教育の現場と子どもの発達の実際を示しつつ、教育心理学に関する基本的な知見・理論を紹介し、概説する。

The purpose of this course is to learn the foundation of developmental psychology.

教育心理学 I

金 5 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 川端 壮康 所属部局等: . 開講セメスター: 3セメスター.
科目ナンバリング: QTL-PSY101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教員になる人のための心理学

Psychology for teacher training courses

2. 授業の目的と概要:

1. 授業の目標: 本講義では、教員に必要な心理学理論について解説する。2. 授業の概要: 本講義では5つの領域 (①発達理論 ②学習と知能③愛着理論④動機づけとアイデンティティ⑤発達支援) の心理学理論を紹介する。

1.Object of class:This course provides students with psychological theories necessary for teacher. 2.Summary of class:This lecture introduces the psychological theory of five areas ((1) developmental theory (2) learning and intellect (3) attachment theory (4) motivation and identity (5) developmental support).

教育心理学 I

集中講義 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 佐藤 康司 所属部局等: 盛岡大学. 開講セメスター: 3セメスター.
科目ナンバリング: QTL-PSY101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育実践のための教育心理学

Educational Psychology for Improving Teaching-Learning Process in Class

2. 授業の目的と概要:

教育心理学における中核的な対象が教授学習過程であること、また、その典型が日常行われている「授業」であることをふまえ、第一は、発達・学習・教育評価など、授業実践にかかわりの深い教育行為や心理的事象をとらえる際の対立的な観点について検討することを目的とする。第二の目的は、この検討内容を教師としての手足の動かし方に結び付けてとらえることである。

The main object of educational psychology is to improve the process of teaching-learning activities. And the typical activities of it is a class in school. So, this course offers an opportunity to investigate opposing views about human development, learning process, educational evaluation, etc. And this course helps students relate those investigations to teachers' activities in class.

特別の支援を必要とする生徒に対する理解

集中講義 (1単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 佐々木 健太郎 所属部局等: 尚絅学院大学. 開講セメスター: 3セメスター. 科目ナンバリング: QTL-EDU105J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

特別の支援を必要とする生徒に対する理解

Understanding the students who need special support

2. 授業の目的と概要:

我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。

Those who take this lecture will learn about inclusive education system in Japan and how to support students with various educational needs.

特別の支援を必要とする生徒に対する理解

集中講義（1単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：佐々木 健太郎 所属部局等：尚絅学院大学. 開講セメスター：3セメスター. 科目ナンバリング：QTL-EDU105J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

特別の支援を必要とする生徒に対する理解
Understanding the students who need special support

2. 授業の目的と概要：

我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。

Those who take this lecture will learn about inclusive education system in Japan and how to support students with various educational needs.

教育の方法と技術

木4（1単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：平 真木夫 所属部局等：宮城教育大学. 開講セメスター：2年次第3クォーター. 科目ナンバリング：QTL-PSY106J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育の方法と技術

2. 授業の目的と概要：

教育の方法および技術について考えるための基本的視座を提供し、それをもとに学習指導のあり方を検討する。特に「教育の方法と技術」のパートでは教育現場にたったときに最も悩まされる教育評価に重点をおいて講義を行う。各教科でグループを作成し、そのグループでパフォーマンス課題とルーブリックを作成する。ただし、コロナの感染状況によっては実施形態や内容が変化する可能性がある。

教育の方法と技術

金1 (1単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 荒井 龍弥 所属部局等: 仙台大学. 開講セメスター: 2年次第3クォーター.
科目ナンバリング: QTL-PSY106J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育の方法と技術

METHODOLOGY and TECHNICS for EDUCATION

2. 授業の目的と概要:

よりよい教育場を創造するために必要な知識・技術という観点から、学習が効果的に成立するための諸条件の操作を中心にこれまでの知見を紹介する。このことを通じ、指導スタイルの確立や教育場面改善向上の必要性を理解するとともに、それらの方法獲得を目指す。

We will examine findings about remodeling the conditions to make better education. And we will consider about the points of view through classroom works. Through these considering, this course aims to develop constructing your own teaching style and improving your process of education.

教育の方法と技術

集中講義 (1単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 佐藤 淳 所属部局等: 北海学園大学. 開講セメスター: 2年次第4クォーター.
科目ナンバリング: QTL-PSY106J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育の方法と技術

Educational methods and techniques

2. 授業の目的と概要:

本講義では、教育の方法と技術に関する基礎的な理論として、提示された情報からの知識の獲得過程と、その適用を促す教授方法に関する知見を紹介します。とりわけ、教授以前に学習者が有している知識の様相に焦点をあて、事前認識の成り立ちや思考の特質について解説します。そして、それらを踏まえた教授方法の在り方と具体的な学習援助の技術について、豊富な事例を紹介しながら検討を加えます。これらを通して、受講者が、学習者の特質や事前状態をよく把握した上で効果的な教材を作成でき、より本質的で適切な学習指導が行えるようになることを目指します。

In this lecture, we will introduce the knowledge acquisition process from the presented information and the teaching methods that promote its application as basic theories on teaching methods and techniques. In particular, it focuses on the aspects of knowledge that the learner has before teaching, and explains the formation of prior recognition and the nature of thinking. Then, we will discuss the ideal teaching method and specific learning support techniques based on those facts while introducing a wealth of examples. Through these, we aim to make it possible for students to understand the characteristics and pre-conditions of learners, create effective teaching materials, and provide more essential and appropriate learning guidance.

教育と ICT 活用

木 4 (1 単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 平 真木夫 所属部局等: 宮城教育大学. 開講セメスター: 2 年次第 4 クォーター. 科目ナンバリング: QTL-EIA101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育と ICT 活用

2. 授業の目的と概要:

指導要領に記載されている 3 つの重要な資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力が指摘されている。このパートでは、主に情報活用能力を ICT の活用の実態の紹介と探索活動の実験などをおして理解することを目標とする。

教育と ICT 活用

金 1 (1 単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 荒井 龍弥 所属部局等: 仙台大学. 開講セメスター: 2 年次第 4 クォーター. 科目ナンバリング: QTL-EIA101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育と情報機器・ICT 活用

Electric Devices and ICT in Education

2. 授業の目的と概要:

よりよい教育場を創造するために必要な知識・技能という観点から、教育において情報通信技術を活用する意義や効果的方法ならびに情報活用能力育成のための指導法を紹介、検討する。これを通じ、指導スタイルの確立や教育場面改善向上の方法の獲得を目指す。

We will examine some findings about remolding the conditions to make better education. We will investigate the teaching method and significance about ICT and using electric devices.

Through these, this course aims to develop construction your own teaching style and improving the process of education.

教育と ICT 活用

集中講義 (1 単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 山下 祐一郎 所属部局等: . 開講セメスター: 2 年次第 4 クォーター.
科目ナンバリング: QTL-EIA101J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

情報通信技術を活用した教育の理論及び方法

2. 授業の目的と概要:

教育方法の原理と理論、指導技術について考察する。そして、様々な授業や教育実践の例に触れ、これからの子どもに求められる資質・能力を育成するための教育方法を理解し、適切な指導技術を身に付けられるように体験的な活動を行う。なお、これらの教育方法や指導技術などには、情報通信技術の効果的な活用と情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成を含んでいる。

総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

月 2 (2 単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 長島 康雄、佐藤 邦宏 所属部局等: 東北学院大学. 開講セメスター: 3
セメスター. 科目ナンバリング: QTL-PSY103J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

Teaching method: periods for integrated study and specials activities

2. 授業の目的と概要:

次の点について、授業の中で適宜グループワークを取り入れて能動的に学修を進める。

- ①特別活動の意義や役割、目標及び内容
- ②集団活動の意義と指導
- ③学級活動、生徒会活動、クラブ活動及び学校行事の内容と指導
- ④学校と家庭・地域との連携
- ⑤総合的な学習の時間の意義や役割、目標及び内容
- ⑥総合的な学習の時間の指導計画
- ⑦総合的な学習の時間の指導案作成および模擬授業。

Regarding the following points, we will actively promote learning by incorporating group work as appropriate in the class.

- ① Significance, role, goal and content of extracurricular activities
- ② Significance and guidance of group activities
- ③ Contents and guidance of class activities, student organization activities, club activities and school events
- ④ Cooperation between school and home / community
- ⑤ Significance, role, goal and content of comprehensive study time
- ⑥ Comprehensive study time instruction plan
- ⑦ Comprehensive study time teaching plan creation and mock lessons.

総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

月5（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：長島 康雄、佐藤 邦宏 所属部局等：東北学院大学. 開講セメスター：3セメスター. 科目ナンバリング：QTL-PSY103J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

Teaching method: periods for integrated study and specials activities

2. 授業の目的と概要：

次の点について、授業の中で適宜グループワークを取り入れて能動的に学修を進める。

- ①特別活動の意義や役割、目標及び内容
- ②集団活動の意義と指導
- ③学級活動、生徒会活動、クラブ活動及び学校行事の内容と指導
- ④学校と家庭・地域との連携
- ⑤総合的な学習の時間の意義や役割、目標及び内容
- ⑥総合的な学習の時間の指導計画
- ⑦総合的な学習の時間の指導案作成および模擬授業。

Regarding the following points, we will actively promote learning by incorporating group work as appropriate in the class.

- ① Significance, role, goal and content of extracurricular activities
- ② Significance and guidance of group activities
- ③ Contents and guidance of class activities, student organization activities, club activities and school events
- ④ Cooperation between school and home / community
- ⑤ Significance, role, goal and content of comprehensive study time
- ⑥ Comprehensive study time instruction plan
- ⑦ Comprehensive study time teaching plan creation and mock lessons.

総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：沼山 博 所属部局等：山形県立米沢栄養大学. 開講セメスター：3セメスター. 科目ナンバリング：QTL-PSY103J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の研究

Studies in the Extracurricular Activities and the Period of Integrated Study

2. 授業の目的と概要：

次の点について、講義を行う。適宜グループワークを組み合わせて、能動的に学ぶことができるようにする。

- ①特別活動の意義や役割、目標及び内容、②学級活動等、学校における集団活動の意義と留意点、③総合的な学習の時間の意義や役割、目標及び内容、④総合的な学習の時間の指導計画と指導における留意点 ※「総合的な学習の時間」には「総合的な探究の時間」を含む。

In this course, group work and other group activities in addition to lectures will be conducted to enable active learning. Lectures will be given on the following points: ① Significance, role, goals, and content of Extracurricular Activities. ② Significance and instructional considerations regarding classroom activities and other group activities at school. ③ Significance, role, goals, and content of the Period of Integrated Study (including the Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study). ④ Instructional planning and considerations for the Period of Integrated Study (including the Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study).

教育相談・生徒指導 I (進路指導を含む)

月 1 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 高木 源 所属部局等: 東北福祉大学. 開講セメスター: 3 セメスター.
科目ナンバリング: QTL-PSY104J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育相談・生徒指導の基礎

Fundamentals of Educational Counseling and Student Guidance

2. 授業の目的と概要:

教育相談の意味や意義について理解した上で、学校現場で生じる諸問題（不登校、いじめなど）を取り上げ、児童・生徒の理解のための技術や予防的対応について学びます。また、カウンセリングの諸理論についても取り上げ、教育相談における対応の仕方について具体的な水準で考えます。

This course aims to deepen understanding of the meaning and significance of educational counseling. Students learn techniques for understanding children and preventive measures, focusing on various problems that occur in school settings (truancy, bullying, etc.). The course also covers various theories of counseling and learn how to respond in educational counseling.

教育相談・生徒指導 I (進路指導を含む)

木 2 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 佐藤 宏平 所属部局等: 山形大学. 開講セメスター: 3 セメスター.
科目ナンバリング: QTL-PSY104J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育相談・生徒指導の基礎、ならびに進路指導の基礎

2. 授業の目的と概要:

学校における教育相談活動や生徒指導において対象となる児童生徒の諸問題について概説し、こうした問題行動に対して教員がどのように対処しうるのか、事例も交えながら論じる。また、相談活動が円滑に機能するためにはどのような点に留意する必要があるのか、さらに予防も含め機能的な学校システムとはどのようなものかについても学んでゆく。加えて、進路指導やキャリア教育、キャリアガイダンスについても触れる。

教育相談・生徒指導Ⅰ（進路指導を含む）

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：中岡 千幸 所属部局等：高度教養教育・学生支援機構.
開講semester：3 semester. 科目ナンバリング：QTL-PSY104J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

学校における教育相談・生徒指導

2. 授業の目的と概要：

将来、教育現場に出て教育のプロフェッショナルとして児童生徒、保護者、管理職など他の教職員、関係機関のスタッフと関わるために、子どもの心の発達について理解を深めたり、教育現場で起こっている諸問題を取り上げ、その具体的な対応（連携等も含む）について学ぶ。

教育相談・生徒指導Ⅱ（進路指導を含む）

火4（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：吉田 沙蘭 所属部局等：教育学研究科. 開講semester：4 semester.
科目ナンバリング：QTL-PSY105J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育相談・生徒指導Ⅱ

2. 授業の目的と概要：

本講義では、学校教育現場において、教師が生徒の悩みや問題に対応する際に必要な、背景となる理論や技法、姿勢について解説する。また、現代の教育現場で生じる様々な生徒の問題を取り上げ、授業で扱った理論や技法を用いて、実際にどのように生徒指導・教育相談・進路指導を進めていくことができるか、事例を用いたグループディスカッションを通して理解を深めることとする。

教育相談・生徒指導Ⅱ（進路指導を含む）

水1（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：長友 周悟 所属部局等：高度教養教育・学生支援機構.
開講セメスター：4セメスター. 科目ナンバリング：QTL-PSY105J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育相談・生徒指導Ⅱ（進路指導を含む）

Educational counseling / student guidance II (including career guidance)

2. 授業の目的と概要：

教育現場で教師やカウンセラーが出会い、対応を迫られる生徒の悩みや問題行動はどのようなものか、それらをどのように理解して生徒を援助し、生徒が自らの将来ビジョンを形作っていくことを支援していくかについて、基本的枠組みと理論・技法や姿勢を紹介・解説する。また、生徒の様々な状況に即した、教育相談、生徒指導、進路指導及びキャリア教育の在り方、進め方について概説する。

Teachers and counselors meet in the field of education and are forced to deal with the problems and problem behaviors of students. I will introduce and explain the basic framework, theory, technique, and attitude to understand them, support students, and shape their own vision for the future. In addition, I will outline the ideal way and how to proceed with educational counseling, student guidance, career guidance and career education according to various situations of students.

教育相談・生徒指導Ⅱ（進路指導を含む）

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：若島 孔文 所属部局等：教育学研究科. 開講セメスター：4セメスター.
科目ナンバリング：QTL-PSY105J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育相談・生徒指導の実践 / Practice of educational counseling and student guidance

2. 授業の目的と概要：

本講義では、生徒指導・教育相談の基本的な理論と方法を学び、学校現場で生じている様々な問題（不登校、いじめ、暴力、虐待、事件・事故など）の理解とその対応を考えていきます。児童・生徒が学校現場に持ち込む事柄は多岐であり、保護者対応などにより、家庭支援を必要とする場合もあります。その際の校内での連携、外部専門機関との連携、地域との連携などについても議論していきます。 / In this lecture, you will learn the basic theory and method of student guidance and educational counseling, and consider understanding and dealing with various problems (school refusal, bullying, violence, abuse, incidents / accidents, etc.) occurring at school sites. I will continue. There are many things that children and students bring to school, and they may need family support due to parental support. At that time, we will also discuss cooperation within the school, cooperation with external specialized institutions, cooperation with the community, and so on.

教職論

火3 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 青山 勝、齋藤 幸男 所属部局等: 教育・学生支援部.
開講セメスター: 1 セメスター. 科目ナンバリング: QTL-EDU103J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教職論

2. 授業の目的と概要:

教員免許状取得希望の学生、あるいは教育問題に関心のあるすべての学生が受講できる内容である。

授業では、学校が直面するさまざまな教育的課題を取りあげる。例えば、学習指導要領と学力問題、「アクティブラーニング」などの学習指導、「いじめと不登校」などの生徒指導、「事故対応や苦情対応」などの危機管理、多発する自然災害に対する防災・安全教育、そして教育相談と心のケアまで多岐にわたる。授業のまとめとして、大学生としての教育観のプレゼンテーションを行う。

教職論

木2 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 井本 佳宏、他 所属部局等: 教育学研究科. 開講セメスター: 1 セメスター.
科目ナンバリング: QTL-EDU103J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教職論 / Introduction to Teaching Profession

2. 授業の目的と概要:

本授業では、小・中・高校及び特別支援学校の第一線で活躍中の先生方による豊富な現場経験に基づいた講義を通じて、学校経営や学級経営、学習指導や生徒指導、保護者や地域住民との連携など、学校現場の様々な場面における教員の実際の姿を学び、教職の意義についての理解を深めてゆく。 /

This course aims to help students deepen their understanding of the teaching profession.

Notice: This course will be taught in Japanese.

教職論

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：清水 禎文 所属部局等：宮城学院女子大学. 開講セメスター：1セメスター. 科目ナンバリング：QTL-EDU103J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教職の仕事 / Introduction to a teaching

2. 授業の目的と概要：

教師の使命や本質、教師の仕事、校務分掌、教員政策と教師の力量形成、教師のライフコースなどについて全般的に学ぶとともに、教職に対する意欲や関心を高めることを目標とする。

またワークショップを通して、議論するスキル、プレゼンテーションのスキル等の習得を目指す。

教育課程論

火3（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：青山 勝、八巻 利栄子、高野 薫 所属部局等：教育・学生支援部. 開講セメスター：2セメスター. 科目ナンバリング：QTL-EDU104J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教育課程論

2. 授業の目的と概要：

教員免許状取得希望の学生にとって、教育課程に関する理論や実施状況について学ぶことは、教育制度や教育改革そのものを理解することでもある。授業では、学校が直面するさまざまな教育的課題を取り上げながら、教育課程の意義や編成方法について学べるようにしている。例えば、各教科や道徳、特別活動の指導法・技術について、ワークショップなどの討議やロールプレイングなどの実技を交えながら授業を展開する。

教育課程論

木2 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 井本 佳宏、他 所属部局等: 教育学研究科. 開講セメスター: 2セメスター.
科目ナンバリング: QTL-EDU104J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

教育課程論 / Introduction to Curriculum in Japan

2. 授業の目的と概要:

本授業では、小・中・高校及び特別支援学校の第一線で活躍中の先生方による豊富な現場経験に基づいた講義を通じて、学校教育における教育課程の実践的意義、教育課程編成の基本原則と方法、教育課程経営の実際などについて学び、今日の学校教育における教育課程のあり方についての理解を深めてゆく。

This course aims to help students deepen their understanding of the curriculum in Japan.

Notice: This course will be taught in Japanese.

教育課程論

集中講義 (2単位). 対象学部: 全 (歯を除く). 担当教員: 清水 禎文 所属部局等: 宮城学院女子大学. 開講セメスター: 2セメスター.
科目ナンバリング: QTL-EDU104J. 使用言語: 日本語.

1. 授業題目:

現代日本の学習指導要領と教育課程 / National Guideline of Curriculum and School Based Curriculum

2. 授業の目的と概要:

近年、日本においては教育改革が早いスピードで進められています。教育課程もまた急速に、かつ大きく変わろうとしています。この授業では、教育課程に関する基礎的な知識を学び、その上で教育政策というマクロな観点から、また学校における教育課程開発・授業論という学校や教室レベルの観点から、その特徴と意義を探ります。

教職実践演習（中・高）

集中講義（2単位）. 対象学部：全（歯を除く）. 担当教員：青山 勝、他 所属部局等：教育・学生支援部. 開講セメスター：8セメスター. 科目ナンバリング：QTL-EDU401J. 使用言語：日本語.

1. 授業題目：

教職実践演習（中・高）

2. 授業の目的と概要：

「教職実践演習」は、教職課程を履修する学生が、教員として最小限必要な資質能力の全体を修得しているかについて最終的に確認するものであり、教職課程の学びの集大成として位置づけられるものである。